



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神奈川県立産業技術短期大学校西キャンパス再整備事業	階数	地上2F
建設地	神奈川県横浜市旭区中尾2丁目60番1	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	335 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年3月1日
敷地面積	5,962 m <sup>2</sup>	作成者	門井 哲人
建築面積	2,720 m <sup>2</sup>	確認日	2021年3月4日
延床面積	3,328 m <sup>2</sup>	確認者	河内谷 宏



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 76% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 69%

④上記+: 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

音環境	2.8
温熱環境	1.8
光・視環境	2.7
空気質環境	3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	2.7
耐用性・信頼性	3.2
対応性・更新性	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	2.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	2.5

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	3.2
汚染物質回避	3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化への配慮	4.2
地域環境への配慮	3.5
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	開口部遮音性能:T-2以上。照度が500lx以上750lx未満。JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数50%以上。空地率40%以上。水平投影面積率合計30%以上。舗装面積率20%以上。
LR1 エネルギー	[BPI <sub>m</sub> ] = 0.56。 [BEI <sub>m</sub> ] = 0.53。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して69%。
Q2 サービス性能	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。階高: 3.9m以上。[壁長さ比率] < 0.1。	
LR2 資源・マテリアル	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



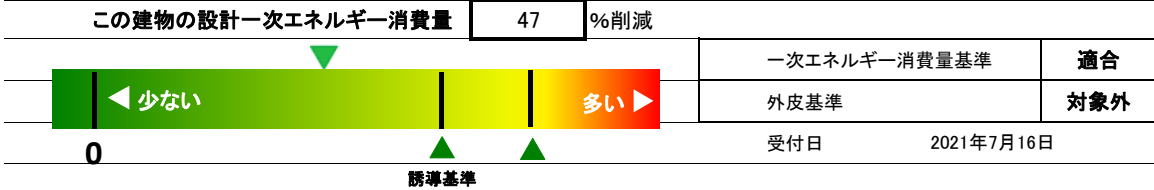
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **神奈川県立産業技術短期大学校  
西キャンパス再整備事業**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 5**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①[BPI<sub>m</sub>] = 0.56。

③[BEI<sub>m</sub>] = 0.53。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

#### 太陽光発電などの導入



太陽光利用

#### エネルギーマネジメントシステム導入

— —

#### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

# CASBEE横浜 | 評価結果 | 3-047



CASBEE横浜2017年版v.1.4

神奈川県産業技術短期大学校西キャンパス再整備事業

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境										2.5
1 音環境				2.8	0.15	-	-	-	-	2.8
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 遮音				3.6	0.40	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能				5.0	0.30	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20	-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	-	-	-	-	-
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-	-	-	-
2 温熱環境				1.8	0.35	-	-	-	-	1.8
2.1 室温制御				1.8	0.50	-	-	-	-	-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.60	-	-	-	-	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.40	-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.30	-	-	-	-	-
3 光・視環境				2.7	0.25	-	-	-	-	2.7
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-	-	-	-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	-	-	-	-	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	-	-	-	-	-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	4.0	0.15	-	-	-	-	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-	-	-
4 空気質環境				3.1	0.25	-	-	-	-	3.1
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-	-	-	-
4.2 換気				1.6	0.30	-	-	-	-	-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.33	-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.33	-	-	-	-	-
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	-	-	3.1
1 機能性				2.7	0.40	-	-	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-	-	-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.50	-	-	-	-	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-	-	-	3.2
2.1 耐震・免震				3.8	0.50	-	-	-	-	-
1 耐震性		防災	⑬耐震・免震	4.0	0.80	-	-	-	-	-
2 免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30	-	-	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	-	-	-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-	-	-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-	-	-
3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30	-	-	-	-	-
1 階高のゆとり				5.0	0.60	-	-	-	-	-
2 空間の形状・自由さ				5.0	0.40	-	-	-	-	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.4

神奈川県立産業技術短期大学校西キャンパス再整備事業

バージョン

CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
						<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>								
<b>LR1 エネルギー</b>								
1 建物外皮の熱負荷抑制								
1.1 省エネルギー性能	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	-	5.0
4 効率的運用								
4.1 集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-	-
4.1.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-
4.1 集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-
4.1.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>								
1 水資源保護								
1.1 節水			2.2	0.20	-	-	-	2.2
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-	-
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	-
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減								
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.20	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避								
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-	3.3
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	-	-
3.2.1 消火剤			-	-	-	-	-	-
3.2.2 発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-	-	-
3.2.3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>								
1 地球温暖化への配慮								
1.1 地球温暖化への配慮			4.2	0.33	-	-	-	4.2
2 地域環境への配慮								
2.1 大気汚染防止			3.5	0.33	-	-	-	3.5
2.2 温熱環境悪化の改善			5.0	0.25	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-
2.3.1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮								
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1.1 騒音			3.0	1.00	-	-	-	-
3.1.2 振動			-	-	-	-	-	-
3.1.3 悪臭			-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-	-
3.2.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-	-
3.2.3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-	-
3.3.2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-
<b>上記以外の重点項目</b>								
<b>&lt;事務用途&gt;</b>								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>								
<b>健康と安心</b>								
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-